

愛媛県立新居浜病院ニュース

vol.26 平成 27 年 6 月号

目次

P1

- 院長ご挨拶
- 連携室からのご案内

P2~4

- 新任医師紹介

P5

- 病棟・センター紹介
(救命救急センター)

P6

- コメディカル紹介
(リハビリテーション部)

P7

- 院内イベント紹介
(ボランティア活動)



愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん

院長ご挨拶

新しい人材を迎え、県立新居浜病院の平成27年度が始まりました。本年度は当院にとって節目の年になろうとしております。国が推し進めようとしている医療改革に伴い、公的医療機関として新居浜地域で当院が担うべき医療はどのようなものなのか？これからの5年あるいは10年以上先を見据えて検討すべき時期に来ているということです。



院長 酒井 堅

当院が今後力を入れていく医療として、第一に救命救急センターと地域周産期母子医療センター機能の充実が挙げられると思います。他の医療機関にない機能であり、医師をはじめとする人材確保に努めているところであります。第二は小児科診療の充実です。本年度より小児科医の増員がなされ、救急を含めた小児科医療を責任を持って果たして参りたいと考えております。

また昨年の病院ニュースにも書いてありますが、今まで行われてきた入院治療が大きく様変わりしようとしています。入院した病院で、最後まで患者さんを診るということが当たり前ではなくなる可能性が出てきました。最初の集中治療を専門とする病院とその後の在宅や社会復帰に向けた取り組みを専門とする病院などに分かれていくかもしれません。医療における機能分担という考え方が1年前よりも、よりいっそう現実味を帯びてきていると感じております。

地域の病院がそれぞれの強みを発揮し、お互いが補完しながら地域医療を守っていくという体制作りが急がれています。

県立新居浜病院は地域に密着した医療を実践し、安全で安心な医療を提供するべく努力して参ります。今後とも県立新居浜病院をよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室からのご案内

各医療機関からの紹介患者様の診療予約をFAXにて承っております。

受付時間 平日8時30分～16時30分 専用FAX：0897-31-7051（直通電話：0897-31-8868）

診療情報提供書（紹介状）の様式ダウンロードは下記 URL または新居浜病院公式ホームページからどうぞ。

<http://www.eph.pref.ehime.jp/epnh/medical/coop.html>（新居浜病院公式HP内連携室のページ）

※当日緊急に受診が必要な場合や、医師間での話し合いが必要な場合は、担当科医師まで直接ご連絡ください。

新任医師紹介（1／3）



山岡 傳一郎

(やまおか でんいちろう)

内科医師
専門分野:総合診療

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 今思うと、難聴の父親の不自由さを見て、世界で活躍する医者になりたいと思ったのがきっかけでした。

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 みんな一緒だと思って接するよう心がけています。

Q3 趣味・特技は？

A3 新居浜で2番目に美味しいコーヒーを淹れること。

Q4 ひとつどうぞ！

A4 新居浜病院に来てよかったと思っています。何となく「新居(しんきょ)」に来たような印象です。



大藤 佳子

(おおとう よしこ)

小児科医師
専門分野:発達・血液腫瘍

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 子どもに関わる仕事がしたかったから。

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 子どもの目線で話をする。家族の状況を考えながら診療すること。

Q3 趣味・特技は？

A3 フルートを吹くこと。



Q4 ひとつどうぞ！

A4 小児救急医療の整備が大きな課題です。家族での看護力向上と三次救急医療体制についてご理解とご協力をお願いいたします。



西村 幸士

(にしむら こうじ)

小児科医師
専門分野:アレルギー

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 医学に興味があり、人のために何かできる仕事に就きたかったから。

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 気になることは何でも相談できる雰囲気を作るようにしています。

Q3 趣味・特技は？

A3 旅行・食べ歩き・家事全般(ひととおりでできます)

Q4 ひとつどうぞ！

A4 新居浜の子どもたちが笑顔になるよう頑張ります！



牧野 景

(まきの あきら)

小児科医師
専門分野:神経・発達

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 小さい頃、自分もよく病気にかかっていたことがきっかけです。

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 出来る限り、相手の伝えたいこと・思っていることを汲み取ること。

Q3 趣味・特技は？

A3 よく食べ、眠りにおちるのが早いです！音楽を聴くことが好きです。

Q4 ひとつどうぞ！

A4 しっかり頑張りますので、よろしくお願いいたします。

新任医師紹介（2／3）



鎌田 ゆきえ

(かまた ゆきえ)

小児科医師
専門分野: 新生児

Q1 患者様と接する際に心がけていることは？

A1 傾聴すること。

Q2 趣味・特技は？

A2 たべること

Q3 ひとつどうぞ！

A3 子どもたちが笑顔で暮らせるように頑張ります！



浅見 経之

(あさみ つねゆき)

小児科医師
専門分野: アレルギー

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 医師に関心があったからです。

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 丁寧な対応を心がけています。

Q3 ひとつどうぞ！

A3 よろしく願います！



徳田 和憲

(とくだ かずのり)

外科医師
専門分野: 消化器外科

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 小学生のころから考えていました。祖母が亡くなったことも影響しました。

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 わかりやすく説明することを心がけています。

Q3 趣味・特技は？

A3 スポーツ全般(サッカー・バレーボール etc)

Q4 ひとつどうぞ！

A4 病院を明るく盛り立てていきましょう！



高山 和之

(たかやま かずし)

外科医師
専門分野: 消化器外科

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 自分は人と接することが好きだと思ったからです。

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 失礼のないよう、真摯に対応すること。

Q3 趣味・特技は？

A3 子どもと遊ぶこと。

Q4 ひとつどうぞ！

A4 頑張りますのでよろしくお願いします！

新任医師紹介（3／3）



田中 英夫

（たなか ひでお）

脳神経外科医師
専門分野：脳神経外科全般

Q1 患者様と接する際に心がけていることは？

A1 わかりやすく丁寧に。

Q2 趣味・特技は？

A2 ゴルフ



Q3 ひと言どうぞ！

A3 より良き病院となるよう、スタッフ一同、力を合わせて頑張りましょう！



麓 憲行

（ふもと のりゆき）

脳神経外科医師
専門分野：脳神経外科全般

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 手に職をつけたかったし、やりがいのある仕事だと思ったから。

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 何でも相談しやすい雰囲気を作ること。

Q3 趣味・特技は？

A3 スポーツ観戦（サッカー、プロレス etc...）

Q4 ひと言どうぞ！

A4 脳神経外科専門医取得後は、急性期脳血管障害・重症頭部外傷の症例を中心に治療にあたってきました。その経験を活かし、東予地区の医療に少しでも貢献できるように頑張りますので、よろしくお願いします！



小岩原 元

（こいはら げん）

放射線科医師
専門分野：画像診断・IVR

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 人の役に立ちたかったからです。

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 親兄弟に同様の医療を為して恥ずかしくないか、自身に問いかけています。

Q3 ひと言どうぞ！

A3 地域の皆様に貢献すべく頑張ります！

頼りになる先生ばかりやけん！



勝原 和博

（かつはら かずひろ）

救急科医師
（救命救急センター）

Q1 医師になった理由・きっかけは？

A1 社会的に安定していると思いました。（今は違う世の中になりました。）

Q2 患者様と接する際に心がけていることは？

A2 正直に接したい。伝えなければならないことは、伝えてゆこうと思います。

Q3 趣味・特技は？

A3 仲間と未来について語り合うことです。最近はサバイバルゲームにハマっています。

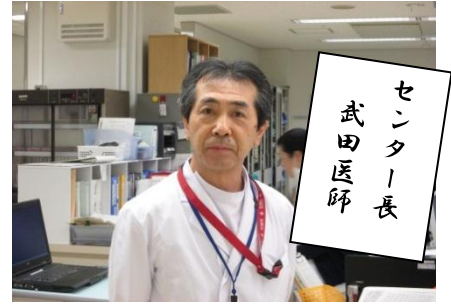
Q4 ひと言どうぞ！

A4 救命救急センターをよろしくお願いいたします。



東予救命救急センター紹介

救命救急センターは平成4年8月に開設され、四国中央市から今治市に至る30万～40万人を背景人口とする東予地域の三次救急医療機関として、また新居浜医療圏の二次救急医療機関として年間1000人前後の患者さんの受け入れを行っています。このセンター機能の維持のためには日々頑張っている各診療科医師の方々や看護師スタッフの方の存在が必要不可欠ですが、今年度から当センター開設以来初めてとなる救急専門医の先生に専従医師として勤務していただくことになりました。これまでも3次救急医療機関としての機能を維持すべく努力してまいりましたが、これからも更に安心・安全な救急医療を提供できるようこの頼もしいスタッフと共に努力してまいりますので宜しくお願い致します。



救急医紹介



副センター長
勝原医師

今年度より東予救命救急センターの専従医師として赴任いたしました勝原と申します。

大阪府中河内救命救急センター、泉州救命センターの二施設で重症外傷診療やそのチームコントロールなどを行っておりました。この度、酒井新居浜病院長より『東予救命救急センターを内外からの評価に耐えられる救命センターにせよ』との指示を受け東予救命救急センターに勤務することになりました。救命救急医療は救命救急センター単独で機能するものではありません。地元住民の方々のご理解のもと、当センター各診療科や病院スタッフの皆様、消防、行政、東予地域の病院の皆様方のご指導とご協力を頂きながら、このセンターが社会変化に対応し、ニーズに応じたセンターになりますように武田センター長の元、勇気を持って進みたいと思います。今後とも東予救命救急センターをよろしくお願い致します。

センターでの活動



カンファレンスの充実に
取り組んでいます。

小児科救急のシミュレーション勉強会
みんな熱心に取り組んでいます。

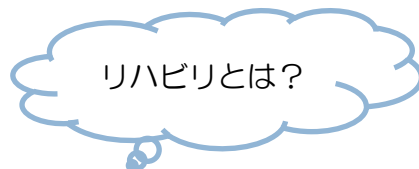




みなさん こんにちは 県立新居浜病院 **リハビリテーション部** です！



理学療法士：5名・作業療法士：1名
言語聴覚士：1名（産休中）・看護師：2名
リハビリ助手：2名



理学療法

基本的動作能力の回復など

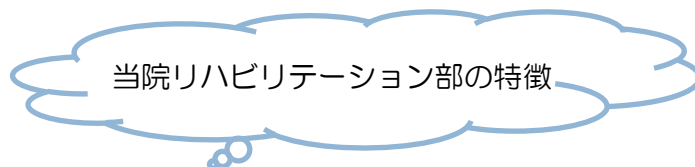
作業療法

日常生活動作能力
社会的適応能力の回復など

言語聴覚療法

嚥下・言語聴覚能力の回復など

これらの治療法によって、患者様が**日常生活に復帰**できるようサポートします！



心大血管疾患

急性心筋梗塞・狭心症・心不全など

脳血管疾患

脳出血・脳梗塞・頭部外傷など

呼吸器疾患

慢性閉塞性肺疾患・気管支喘息・肺炎など

がん疾患

手術や化学療法を行う予定のがん患者様

当院は、上記4つの疾患に対するリハビリテーションを軸に運営しています。これら各疾患別リハビリテーションは、医師・看護師・その他専門職種などの関係多職種スタッフから構成された専門部会を設置し、定例会や研修会などを通じ**チーム医療**を提供できるよう活動しています。

また、リハビリテーションの継続と基礎疾患の治療及び再発予防に必要な医療情報を、急性期病院・回復期リハビリテーション病院・かかりつけ医などの地域生活期施設で共有・連携し、患者様に適した医療サービスを提供できるように**地域連携**を行っています。

スタッフ一同、日々精進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



ボランティア活動(4月29日)の様子



新居浜病院は緑がいっぱいやけん、落ち葉や雑草がた〜くさん！
地域のみなさんの御協力のもと、病院敷地内をきれいにしたんよ♪



いっぱいとれたけん♡



ありがとうございました

